

編集後記

巻頭言にも記したが、この企画は、ヨーロッパの中国学研究者と話す中で生まれてきたものである。彼の国の研究者たちは、キリスト教を布教するため、もしくは植民地支配に貢献するためといった実効性のある中国研究の立場からいち早く脱皮せざるを得なかった。いわば隠居の先達というわけである。それに加えて自国の文化である中国と台湾、そしてあらたな活動フィールドとして中国をにらんでいるアメリカ、そんな中であって我が日本の中国研究は、どのようなものであり、これからどのようなものであろうとしている

のか。企画と編集を進めながら充実した思考を楽しむことができた。

なかなか焦点の定まらない執筆依頼に見事に応えてくださった執筆者の方々にまずは感謝しなければならぬ。そしてこの企画に最初につてくれ、座談の出席者まで考えてくれた今は北京大学に行ってしまった橋本さん、思わぬ所から面識を得、会うや強烈に方向を示唆してくれた佐藤さんにはとりわけお礼を申さねばならない。両氏に両陳さんもまじえて座談会の後新宿へくりだし、終電を乗り過ぎてカラオケ屋になだれ込むことになったのも、中国学への思いのふかさゆえであつたらうか。またそもそもの発想をお与え

❖投稿原稿を募ります❖

『中国21』は、新しい発想から現代中国をめぐる諸問題に切り込む、鋭鋭の論考を広く募集いたします。現代中国に関するテーマであれば、そのジャンルは問いません。むしろ、既存の学問のジャンルを打ち破るような斬新な発想を期待いたします。募集の要領は左記の通りです。

- ①現代中国に関する論考（未発表のものに限る）。
- ②四〇〇字詰原稿用紙換算。論説、研究ノート、報告・ルポ、資料等。五〇枚程度、書評。二〇枚程度、エッセイ。一〇枚程度。
- ③原則としてワープロで作成した縦書き原稿二部及びフロッピーディスクを提出。

❖表紙画募集❖

『中国21』の表紙デザインに用いる絵画、写真を募集いたします。絵画については作品のカラー写真を、写真についてはプリントを御送付下さい。

送付先

愛知県西加茂郡三好町黒笹三七〇
愛知大学現代中国学会
〒470-0296
☎（〇五六）三六一一二四
FAX（〇五六）三六一一五二六

投稿規程の詳細は現代中国学会室までお問い合わせ下さい。採否は、編集委員会の検討を経て決定し、採用にあつては規定により薄謝を呈呈します。なお、応募された原稿及びカラー写真等は、採否に関わらず返却いたしません。

くださったヨーロッパの先生方にもお礼を申し上げる。さまざまな研究スタンスを目にするのは、わたしにとって斯界の先行研究以上にシノロジーへの強い動機付けとなった。

この企画が私のようなおもいをする人を増やす機会となれば幸いである。（木島史雄）

愛知大学現代中国学部 Amy\\sachi-nagahide@edc.chinui

中国21 編集委員会

（編集長） 加々美光行 木島史雄 黄英哲
高明潔 高橋五郎 藤森猛 古澤賢治
馬場毅 松尾肇子 劉柏林（五十音順）

中国21 Vol.23

二〇〇五年十二月二十六日発行

編集

愛知大学現代中国学会
愛知県西加茂郡三好町黒笹三七〇
電話（〇五六）三六一一二四

発行人

今井 井 理 之
名古屋市中区上前津二一九一四
久野ビル

発売

風 媒 社
電話（〇五）三三一一〇〇八

印刷

（株）あ る む
名古屋市中区千代田三一一二
電話（〇五）三三一一〇八六